

あなたの納めた税金は

予算審査・

税4億2、120万8千円（前年比1、436万4千円減）、軽自動車税3、608万7千円（前年比80万8千円増）、町たばこ税49万1千円の減、入湯税48万9千円の減となっている。歳出で戸籍住民基本台帳費として、パスポートの発行が原則として各市町村に移行する事からその窓口設置費として54万円。環境衛生費として家庭用飲用水の水質検査費37万5千円（250戸分）。

国民健康保険事業会計 歳入予算で一般被保険者保険税2億1、797万3千円、退職被保険者保険税2、668万3千円、国庫支出金3億2、000万円、前期高齢者負担金3億4、000万円。歳出の主なもの、高額医療療養費の1億800万円、後期高齢者支援金の1億5、800万円、特定検診事業費2、180万8千円。

後期高齢者医療事業会計 歳入で特別徴収分6、002万8千円普通徴収分1、595万8千円、保険基盤安定繰入金5、632万1千円となっている。

住宅用地造成事業会計 予算額350万8千円、歳出予算は、電気代、保守点検費の300万円の計上。

奨学金貸付事業会計 歳入で返還金464万9千800円（大学生17名、高校生5名）繰越金88万6千200円、歳出で貸付金552万円。春富財産区会計歳入、歳出各々28万1千円の計上となっている。

均受診率は53・4%となっており、新年度も更に周知徹底に努めることになっている。**社会福祉費関係**では、今年10月に全国福祉祭（ねんりんピック）が実施されるのにもないベタンク競技大会補助金として656万7千円が計上されている。次に災害救助費見舞金として168万円計上されているが、この事業は条例改正によって、死亡見舞金一人10万円に住宅全焼・全壊の場合50万円に、半焼・半壊25万円等に変更するための予算措置である。**児童福祉関係予算**では、新規事業の『ファミリースポーツセンター』の新設のための事業予算として80万8千円をその他乳幼児等医療助成事業4、043万円の中には、高校生上乗せ分として543万円が計上されている。

特別会計の和水町介護保険事業会計では歳入歳出予算総額15億4、544万円、対前年比で54%の増となっている。なお歳出の93・83%が介護給付費となっている。平成23年2月現在の要介護認定者数は857人となっている。同じく特別会計の**和水町特別養護老人ホーム事業会計**の歳入歳出総額は4億9、117万3千円で、その中の91・3%が施設利用料と施設介護自己負担金の収入で、歳出面では総務費の中の92・3%が施設職員の人件費となっている。

町立病院事業会計予算は、収益的収入及び支出予算額は、9億2、171万7千円で、前年度より約1、945万8千円の増となっている。

次に資本的収入及び支出の予定額は資本的収入が5、247万5千円、資本的支出9、012万9千円となっている。

以上が、厚生常任委員会に付託された一般会計と特別会計の予算審議概要である。

◎ふるさと雇用再生特別交付金事業（観光ルート開発事業）は、2年目の23年度に効果を期待したい。

建設課

◎土木総務費では、県道事業負担金1、200万円（和仁菊水線・玉名山鹿線）土木費補助4、000万円（84件）の計上、道路維持費は、繰越分7、000万円対応。

◎道路新設改良費は、補助事業2億500万円、単独事業は、11路線1億7、000万円、単独事業の増額を望みたい。

◎河川総務費では、桶間管理、美化業務等、例年通りの計上、道路、河川の草刈等行政区の協力をいただいている。今後とも行政区のご支援をお願いする。

◎住宅管理費には、大きな計上はないが、家賃滞納解消に協力が必要である。

特別会計

◎簡易水道事業会計では、歳入は、使用料、繰入金で償還金をおぎなっている。加入率向上を目指し健全な運営を。

◎下水道事業会計は、汚水支線梁工事（特老分）施設管理委託料、償還金6、710万円が主な計上。償還金は23年度がピークになっている。

◎特定地域生活排水処理事業では、町設置型に一本化により50基分の増額計上。

3つの特別会計では、多額の繰入金があるが、衛生面環境面、そして安心・安全な住みよい町づくりの為に加入促進設置率向上を目指す必要がある。